



北沢楽天と漫画文化 ～楽天生誕150周年記念～

北区には、地域の貴重な財産となっている「漫画」があります。日本で最初の職業漫画家と呼ばれる北沢楽天は、晩年を北区盆栽町で過ごしました。

「市報さいたま」北区版では、令和8(2026)年に迎えた楽天の生誕150周年を記念して「北沢楽天と漫画文化」と題して、楽天の作品を紹介しています。



キャラクターの登場

楽天は、それまで日本の漫画にはなかったキャラクター性を持った登場人物を生み出し、連載漫画に登場させました。親しみやすいキャラクターの言動を通じて日々の暮らしを描くことで、多くの読者の共感呼び、幅広い世代の支持を得ました。

今では当然と思われる表現方法ですが、当時は非常に斬新な手法であり、これを受け継いだ漫画界では、手塚治虫を始めとする後世の漫画家に大きな影響を与えました。

『東京パック』5巻34号(有楽社)
明治42(1909)年12月1日発行

茶目と柿

楽天が生み出した漫画キャラクターの一人「茶目^{ちやめ}」が登場する作品です。

その名が示すとおり、いたずら好きで機転の利く茶目は大人気となり、当時、「いたずらをする」という意味で「茶目る」という言葉が使われる程でした。

今月の 休日窓口



11月29日(日)
8時30分～17時15分

住民異動・戸籍・国民健康保険・国民年金等の届出や各種証明書の交付など、区役所の一部業務を取り扱います。

問合せ さいたまコールセンター(8時～21時) ☎835・3156 ☎827・8656

